

「ソーシャルインクルージョンと地域共生社会の最前線」

ウェルネスタウン構想が紡ぐ

誰もが自分らしく暮らせる未来

第5回済生会ソーシャルインクルージョンシンポジウム in Otaru

基調講演

「ソーシャルインクルージョンの理念を活かす」

社会福祉法人^{恩賜財団}済生会 理事長 炭谷 茂

特別公演

「誰もが役割を持ち、参加できる社会の実現に向けて」

元厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課長 小野寺 徳子 氏

2026 9.6 Sun 12:30 - 15:50
(受付 12:00)

会場：グランドパーク小樽 5階「樹林の間」

〒047-0008 北海道小樽市築港11-3

入場：無料・事前申し込み（当日参加可）

定員：200名（定員になり次第締め切ります）

※ QRコードからお申し込みください。



主催：社会福祉法人^{恩賜財団}済生会・北海道済生会
共催：小樽市、社会福祉法人懇話会「しあわせネットワーク・おたる」、小樽市社会福祉協議会、株式会社小樽ベイシティ開発
後援：一般社団法人小樽観光協会

【お問い合わせ】

済生会小樽病院（担当：五十嵐・掛川）

TEL 0134-25-4321

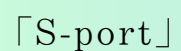
Mail si_symposium@saiseikai-otaru.jp



Y.Kondo

「地域共生社会を支えるソーシャルインクルージョンの実装
—制度と実践、そして“参加できる場”をどうつなぐか—」

コーディネーター	北海道済生会 常務理事 櫛引 久丸
コメンテーター	社会福祉法人 済生会 理事 松原 了
パネリスト	小樽市 福祉保険部長 中村 哲也 氏
	北海道済生会事業共創推進室 主任 土谷 浩大
	済生会小樽病院 内科部長 諸原 基貴
	株式会社小樽ベイシティ開発 代表取締役社長 内藤 雄介 氏



現在、済生会地域ケアセンター、小樽市重層的支援コーディネーター、フリースクールが活動を開始しており、医療・福祉・教育が連携した取り組みが動き出しています。今後は、小樽市全体を舞台に子ども・若者支援や多文化共生、働き方・学び方の再設計、産業創出など、小樽の未来づくりにつながる多様なプログラムを段階的に展開し、市民や企業、行政とともに「誰もが活躍できるまち・小樽」の実現を目指していきます。



表紙は「Y.Kondo」さんが、鉛筆一本で描いた小樽運河。繊細な筆致から、小樽の風景への愛着と温かいまなざしが伝わる作品です。

FAX 申込用紙

ソーシャルインクルージョンシンポジウム 参加申込書

○申込者氏名：

※複数名で申込の方は、参加代表者の方のみ記入してください

○参加人数：

○所属先(任意)：

個人情報の取扱いについて

ご記入いただいた申込情報は、本シンポジウム運営以外の目的では使用しません。

第5回
済生会

定員
200名
当日参加可能

ソーシャルインクルージョンシンポジウム

グランドパーク小樽5階「樹林の間」

12:30~
(受付12:00~)



社会福祉法人 済生会
理事長 炭谷 茂

12:40 基 調 講 演 炭谷 茂 (社会福祉法人 済生会理事長)

13:25 特 別 公 演 小野寺 徳子 氏 (元厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課長)

14:20 パネルディスカッション 「地域共生社会を支えるソーシャルインクルージョンの実践
— 制度と実践、そして“参加できる場”をどうつなぐか —

コーディネーター
松原 了 (社会福祉法人 済生会理事)

中村 哲也 氏 (小樽市 福祉保険部長)

土谷 浩大 (北海道済生会事業共創推進室主任)

諸原 基貴 (済生会小樽病院内科部長)

内藤 雄介 氏 (小樽ベイシティ開発代表取締役社長)

15:50

パネリスト



元厚生労働省職業安定局
障害者雇用対策課長
小野寺 徳子 氏

参加申込フォーム

